

お ろ く ぼ
尾呂久保地区

マウンテンスポーツのベース 山の暮らしを『体験』できる尾呂久保地区



① ウッドハウスおろくぼを核とし、山の暮らしを「体験」できる尾呂久保集落エリア



② 登山、ハイキング等のマウンテンスポーツを楽しむ奥大井自然公園エリア

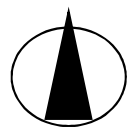
所在地	川根本町水川地内
面積	14km ²
施設等	ウッドハウスおろくぼ、三ツ星天文台、白羽山展望台、おろくぼハイキングコース等
アクセス	【自動車】東京IC(東名高速道路)～島田金谷IC(新東名高速道路)～ウッドハウスおろくぼ:約180分 【電車】東京駅～静岡駅～金谷駅～田野口駅(東海道新幹線・東海道本線・大井川鐵道)約220分 田野口駅から徒歩約120分

尾呂久保エリアは、川根本町の南部域、標高660mに位置し、奥大井自然公園の玄関口として位置付けられ、大札山・山犬段周辺は、春にはアカヤシオ、シロヤシオの美しい花が、秋には山頂から一面の紅葉が訪れる人を楽しませてくれます。

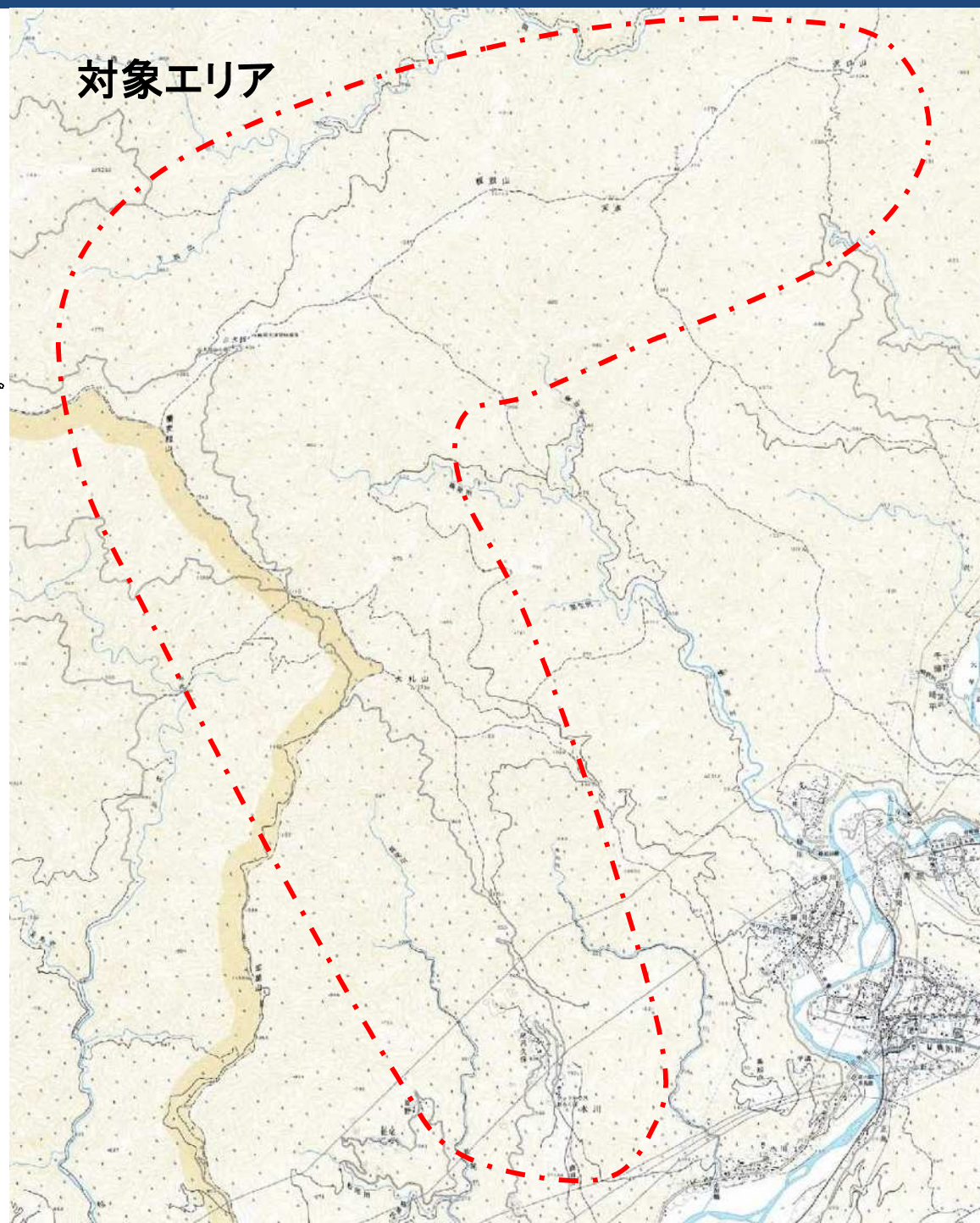
また、宿泊施設「ウッドハウスおろくぼ」を核に、三ツ星天文台、白羽山展望台と山ならではのロケーションを活かしたビューポイントが点在し、初心者でも安心して散策できるハイキングコースがあり、エリア全体がマウンテンスポーツエリアとして、初心者からエキスパートまで満足できる、懐の深いエリアです。

川根茶の産地にあって、尾呂久保地区は「天空の川根茶」として、町内の他の地区より高い標高、気候の違いによる独自ブランド化も進めており、小さな集落にありながら積極的な農業経営を行う地区としても知られています。

2. 対象エリアの位置図

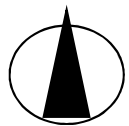


S=1:100,000



出典：町管内図部分図

2. エリア図

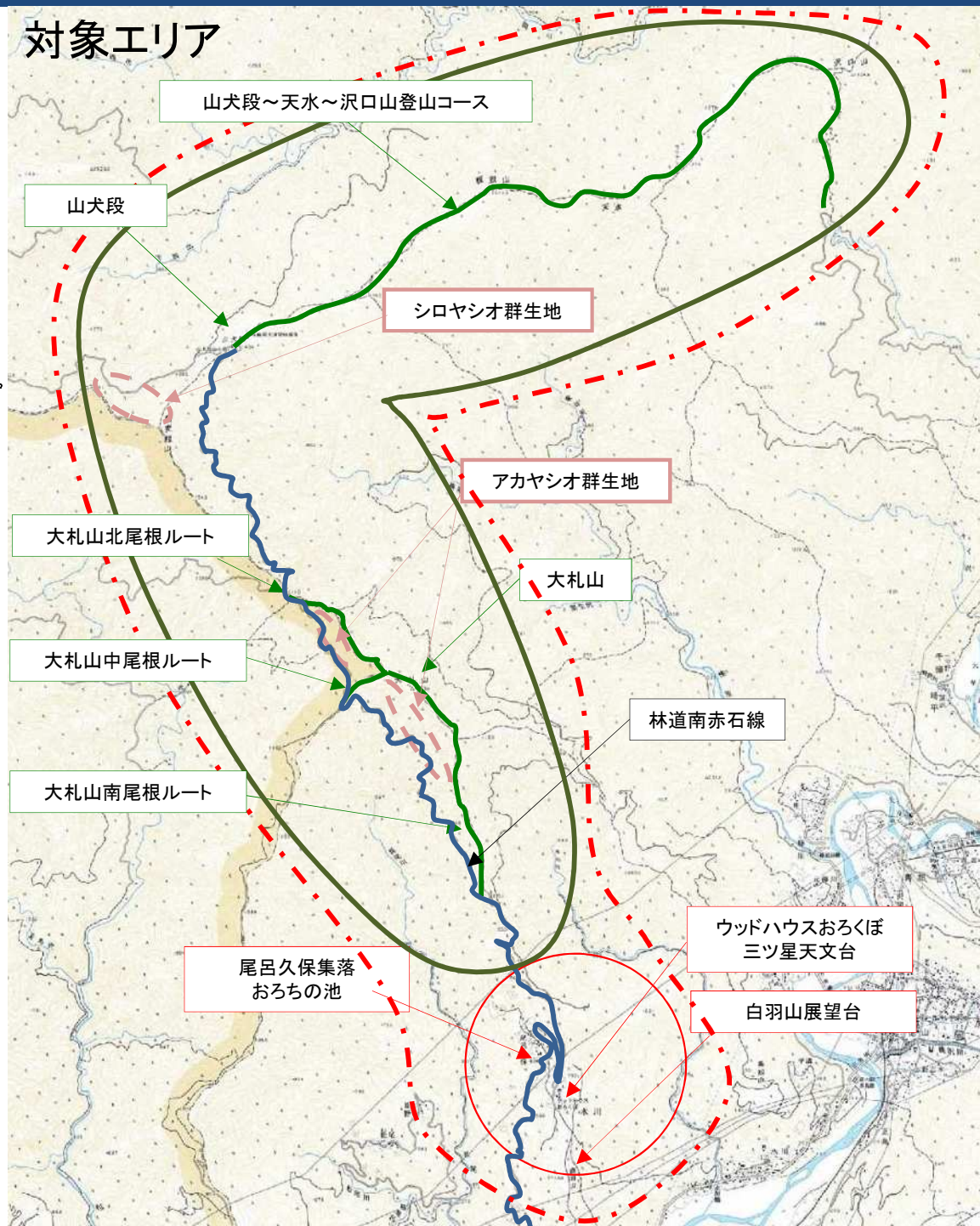


S=1:100,000

川根本町



対象エリア



凡例

- 奥大井自然公園エリア
- 尾呂久保集落エリア

出典：町管内図部分図

①ウッドハウスおろくぼを核とし、山の暮らしを「体験」できる尾呂久保集落エリア



三ツ星天文台



白羽山展望台からの眺望

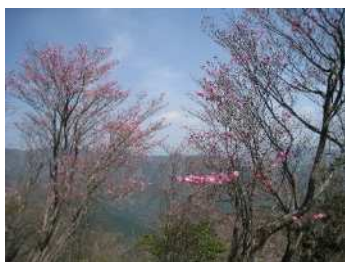
木材をふんだんに活かした山小屋風の宿泊施設「ウッドハウスおろくぼ」を中心に、澄んだ空気がもたらす絶好の条件で日本一の星空を観測できる「三ツ星天文台」、晴れた日には富士山から駿河湾まで一望できる「白羽山展望台」、集落のシンボルでおろち神話のある「おろちの池」がシンボルの尾呂久保集落は、山あいの地ならではの時間を楽しめる地域です。

山林と茶園が斜面に織りなす風景が唯一無二の景観を形成しています。

〈景観形成の主な課題〉

- ・景観の魅力や景観を楽しめるスポットがあるが、手入れが行き届かず観光商材として活かされていません。
- ・ウッドハウスおろくぼの宿泊施設としてのキャパシティは十分なものの、宿泊に付随するアクティビティ等が薄く、魅力にかけため、利用者が伸び悩んでいます。
- ・幹線道路からの案内サインの老朽化等で不明瞭な部分が見受けられます。
- ・幹線道路から集落までのアクセス道において倒木などもあり、安全確保に更なる方策が必要です。
- ・ハイキングコースにおいて、崩土等の危険箇所や、橋・階段の損傷が見受けられます。
- ・展望所において、建屋の老朽化や、草木が眺望を遮っている箇所が見受けられます。
- ・おろちの池の整備が行き届かず、せっかくの神話スポットが活かされていません。
- ・天空の川根茶として、特異な農场景観でありながら、認知度は低く魅力を発信できていない

②登山、ハイキング等のマウンテンアクティビティを楽しむ奥大井自然公園エリア



アカヤシオ群生地



登山ルートからの眺望

春先に咲く「アカヤシオ」「シロヤシオ」の群生地を有する大札山の南尾根、中尾根、北尾根のルートと、山犬段から天水を経由し沢口山、寸又峡温泉に続く奥大井県立自然公園を縦走する登山コースと初・中級の登山コースがあり、トレkkerに人気があります。

〈景観形成の主な課題〉

- ・植生を楽しむには鬱蒼としており眺望が効かない。
- ・山犬段小屋の老朽化が進み、改修の必要があります。
- ・尾根を縦走する登山道で、一部景観伐採を要する箇所があります。
- ・山犬段へのアクセス道路が崩土等で通行止めになることが多々あります。（令和4年1月現在も通行止め）

マウンテンスポーツのベース 山の暮らしを『体験』できる尾呂久保地区

地域住民の視点

- ・尾呂久保の住人は観光客を受け入れることに慣れていない
- ・自然を踏み荒らすような人にはあまり来てほしくない
- ・穏やかな変化ならば順応できるが、暮らしが大きく変化することは望まない
- ・自活・自立の想いを持った人だけ来てほしい
- ・尾呂久保地区を未来に残したい

有識者の視点

- ・この地区に訪れる人達は、景色を楽しむなど目的があって訪れている。目的のある人達に別のことを行ってもらうことは困難
- ・この地域の魅力は何で、地域の人が、何を知ってもらいたいかの確認は必要。

優先順位 1

目標 1

- ①ウッドハウスおろくぼを核とした山の暮らしを「体験」できる景観



景観づくり方針

- ①尾呂久保集落を核とした日本の原風景を保存、再現し、暮らしを「体験」できる景観づくり
- ②ウッドハウスを中心にアウトドアを感じる景観、施設整備

優先順位 2

目標 2

- ②登山、ハイキング等のマウンテンアクティビティが楽しめる景観



景観づくり方針

- ①手を入れるのは最小限に、尾根伝いの眺望を最大限に魅せる景観整備
- ②既存登山道、遊歩道等、自然へのアクセスの安全を担保する整備

対象エリア全体につながる景観づくりの取組

目標 1 ①ウッドハウスおろくぼを核とした、山の暮らしを「体験」できる景観

方針 1-① 尾呂久保集落に日本の原風景を再現し、暮らしを「体験」できる街並づくり

取組み

実施主体

短期

- ①「おろちの池」の管理方法の検討、安全性の点検、整備方針の確立
- ②サイン計画を立て既存案内看板の維持管理の検討、傷んだ看板の撤去及び更新【屋外広告物やサインを設置する際には眺望を遮らない・周辺景観と調和するよう配慮】
- ③アクセス道路、集落内におけるビュースポットの洗い出し
- ④集落内に事業趣旨の説明、協力依頼
- ⑤集落内の整備計画の樹立
【イメージを統一した建物や工作物等の配置、形状を工夫する】
【色彩及びデザインはそれ自体が目立つものとならないよう注意する】
- ⑥「体験」プログラムの洗い出し

- 町（観光商工課）、関係団体（観光協会）、住民（水川区・尾呂久保地区）
- 町（観光商工課）、関係団体（観光協会）、住民（水川区・尾呂久保地区）
- 町（観光商工課）、関係団体（観光協会）、住民（水川区・尾呂久保地区）
- 町（観光商工課）、関係団体（観光協会）、住民（水川区・尾呂久保地区）
- 町（観光商工課）、関係団体（観光協会）、事業者、住民（水川区・尾呂久保地区）
- 町（観光商工課）、関係団体（観光協会）、住民（水川区・尾呂久保地区）

中・長期

- ⑦日本の原風景の再現又は保存をし、暮らしを体験できる景観整備
【イメージは白川郷のような統一した建築物】
- ⑧集落内にシンボルとして水車を設置
- ⑨施設管理に対する景観配慮への協力依頼と対応方法の協議
- ⑩サイン計画に基づいた案内サインの整備
- ⑪ビュースポットでの景観間伐の実施
- ⑫転換作物などの検討（お茶以外の農作物の検討）

- 町（観光商工課）、関係団体（観光協会）、事業者、住民（水川区・尾呂久保地区）
- 町（観光商工課）、関係団体（観光協会）、事業者、住民（水川区・尾呂久保地区）
- 町（観光商工課）、施設管理者（指定管理者）、関係団体（観光協会）、住民（水川区・尾呂久保地区）
- 町（観光商工課）、関係団体（観光協会）、事業者、住民（水川区・尾呂久保地区）
- 町（観光商工課・農林課）、関係団体（観光協会）、事業者、住民（水川区・尾呂久保地区）
- 町（観光商工課・農林課）、関係団体（観光協会）、事業者、住民（水川区・尾呂久保地区）

目標 1 ①ウッドハウスおろくぼを核とした、山の暮らしを「体験」できる景観

方針 1-② ウッドハウスを中心にアウトドアを感じる景観、施設整備

	取組み	実施主体
短期	⑬荒廃したテニスコート（築32年）跡地周辺の利活用について検討する ⑭荒廃したアスレチック（築32年）跡地の利用について整備方針を決定する ⑮三ツ星天文台の運営について、運営団体（三ツ星アストロノミークラブ（MAC））と調整し施設についての維持管理の計画を立案する ⑯緑の伝習館の有効活用について検討する ⑰尾呂久保集落とウッドハウスをつなぐ導線整備について検討する ⑱白羽山展望台（築年数不明）の整備計画を立案する ⑲食の充実を図る	●町（観光商工課）、関係団体（観光協会）、事業者、住民（水川区・尾呂久保地区） ●町（観光商工課）、関係団体（観光協会）、事業者、住民（水川区・尾呂久保地区） ●町（観光商工課）、関係団体（観光協会・MAC）、事業者、住民（水川区・尾呂久保地区） ●町（観光商工課）、関係団体（観光協会）、事業者、住民（水川区・尾呂久保地区） ●町（観光商工課）、関係団体（観光協会）、事業者、住民（水川区・尾呂久保地区） ●町（観光商工課）、関係団体（観光協会）、事業者、住民（水川区・尾呂久保地区） ●町（観光商工課）、関係団体（観光協会）、事業者、住民（水川区・尾呂久保地区）
中・長期	⑳ウッドハウス（築32年）、緑の伝習館（築31年）、三ツ星天文台（築20年）の建物の維持について計画を立案し、年次計画をもって整備を進める ㉑アスレチック跡地を利用したアクティビティに必要な整備を加える ㉒白羽山展望台の整備	●町（観光商工課）、関係団体（観光協会）、事業者、住民（水川区・尾呂久保地区） ●町（観光商工課）、関係団体（観光協会）、事業者、住民（水川区・尾呂久保地区） ●町（観光商工課）、関係団体（観光協会）、事業者、住民（水川区・尾呂久保地区）

目標2 登山、ハイキング等のマウンテンアクティビティが楽しめる景観

方針2 手を入れるのは最小限に、尾根伝いの眺望を最大限に魅せる景観整備

	取組み	実施主体
短期	②③大札山、山犬段へのアクセス道路の改修、整備（現在崩土により通行止め） ②④登山道、散策コースの点検、周辺施設の整備計画の策定 【サイン計画を策定し、計画に沿った整備を進める】 ②⑤ルート上のビューポイントの確認、新たなビューポイントの発掘 【極力自然に手を入れないことを前提に進める】 ②⑥山犬段小屋（築25年）の整備計画の策定 【建替、改築の判断と、今後の維持管理計画を含む】	● 町（観光商工課・建設課）、関係団体（観光協会）、事業者、住民（水川区・尾呂久保地区） ● 町（観光商工課）、関係団体（観光協会）、事業者、住民（水川区・尾呂久保地区） ● 町（観光商工課）、関係団体（観光協会）、事業者、住民（水川区・尾呂久保地区） ● 町（観光商工課）、関係団体（観光協会）、事業者、住民（水川区・尾呂久保地区）
中・長期	②⑦山犬段小屋の整備 【建替、改築の判断と、今後の維持管理計画を含む】 ②⑧ルート上の景観伐採（年次計画をもって整備）	● 町（観光商工課）、関係団体（観光協会）、住民（水川区・尾呂久保地区） ● 町（観光商工課・農林課）、関係団体（観光協会）、住民（水川区・尾呂久保地区）

7. 景観施策(案)のイメージ図

目標1 方針1-①

- ①「おろちの池」の管理方法の検討、安全性の点検、整備方針の確立
- ②サイン計画を立て既存案内看板の維持管理の検討、傷んだ看板の撤去及び更新
- ③アクセス道路、集落内におけるビュースポットの洗い出し
- ④集落内に事業趣旨の説明、協力依頼
- ⑤集落内の整備計画の樹立
- ⑥「体験」プログラムの洗い出し
- ⑦日本の原風景の再現または保存をし、暮らしを体験できる景観整備
- ⑧集落内にシンボルとして水車の設置
- ⑨施設管理に対する景観配慮への協力依頼と対応方法の協議
- ⑩サイン計画に基づいた案内サインの整備
- ⑪ビュースポットでの景観間伐の実施
- ⑫転換作物などの検討（お茶以外の農作物の検討）

目標1 方針1-②

- ⑬テニスコート跡地周辺の利活用を検討する。
- ⑭アスレチック跡地の利用について整備方針を決定する
- ⑮三ツ星天文台の運営について、運営団体（三ツ星アストロノミークラブ）と調整施設についての維持管理の計画を立案する
- ⑯緑の伝習館の利活用について検討する
- ⑰尾呂久保集落とウッドハウスをつなぐ導線整備について検討する
- ⑱白羽山展望台の整備計画を立案する
- ⑲食の充実を図る
- ⑳ウッドハウス、緑の伝承館、三ツ星天文台の建物の維持について計画を立案し、年次計画をもって整備を進める
- ㉑アスレチック跡地を利用したアクティビティに必要な整備を加える
- ㉒白羽山展望台の整備

目標2 方針2

- ㉓大札山、山犬段へのアクセス道路の改修、整備
- ㉔ルート上登山道、散策コースの点検、周辺施設の整備計画の策定
- ㉕ビューポイントの確認、新たなビューポイントの発掘
- ㉖山犬段小屋の整備計画の策定
- ㉗山犬段小屋の整備
- ㉘ルート上の景観伐採

